

| | |
|-----|-------------------------------|
| 単元名 | 近畿地方 —都市・農村の変化と人々の暮らし— |
|-----|-------------------------------|

1 単元のねらい

近畿地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に研究する中で、人口や都市・村落の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題を関連させて、多面的・多角的に考察・表現することができる。

2 単元の評価規準

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---------------------------------|---|--|---|
| 単 元 の 評 価 規 準 | ・近畿地方について、地域的特色や課題を理解し、人口や都市・村落を中核とした考察の仕方を取り上げた事象を理解できる。 | ・人口や都市・村落の成立条件から、地域の広がりや人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題を関連付けて多面的・多角的に表現できる。 | ・より良い社会の実現を視野に近畿地方で見られる課題を主体的に追究しようとしている。 |

●学習改善につながる評価 ○評定に用いる評価

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---------------|---|---|---|---|---|
| 知識・技能 | ○ | ● | ● | | |
| 思考・判断・表現 | | ● | ● | ○ | ○ |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ● | | | | ○ |

3 単元構造図（全5時間）☆獲得する認識

単元名

近畿地方
～都市・農村の変化
と人々の暮らし～

単元学習前の生徒の認識

近畿地方は、古い街並みが有名だね。修学旅行でも行ったけど、寺社が特徴的で、大阪は「天下の台所」とも呼ばれていた歴史がある地域だね。今でもその名残があるけれど、どんな歴史の中で生活や文化が築き上げられてきたのだろう。

第1時 近畿地方をながめて 【○知識・技能 ●主体的に学習に取り組む態度】

近畿地方は、どのような地域なのだろう。

☆リアス海岸 ☆紀伊山地

近畿地方は、自然環境が大きく違う。北部のリアス海岸である若狭湾には、冬は北西からの季節風の影響で降水量が多くなる。また、南部は暖流の影響で温暖で、夏の降水量が多くなる。中央部では、日本で一番大きな湖である琵琶湖があり、他の地域と比べると降水量は少なくなっている。また、近畿では、大阪や京都・神戸などの中央部の沿岸部や盆地・平野に人口が集中している。人口が減少している地域と増加している地域では、どんな違いがあるのだろう。

第2時 大都市圏の形成と都市の産業 【●知識・技能 ●思考・判断・表現】

大阪大都市圏と阪神工業地帯はどのように形作られたのだろう。

☆大阪大都市圏 ☆阪神工業地帯 ☆再開発

近畿地方では、大阪大都市圏が形成され、郊外の住民が行き来するために私鉄等を多く利用している。また、工業も発展を続けており、今では機械類や化学が多くなっている。大阪市では、再開発を進めてテーマパークを誘致し、2025年には大阪関西万博を開催予定になっている。しかし、問題もあり条例などでカバーしている。大阪市だけでなく、郊外の住民の暮らしは、どのようにになっているのかな。

第3時 京都の歴史的な町並み 【●知識・技能 ●思考・判断・表現】

なぜ、京都の看板は目立たないように作られているのだろう。

京都市ではわざわざ景観を守っているのは、歴史的な背景を大切にしていこうとする願いがあるからだ。景観を守る条例も整備されて、京都では変わりつつある。また、景観を守ることで観光資源を保護することになり、観光客が多くなることで、経済の面からもメリットが大きく、経済効果も大きいことがわかった。しかし、制限されているために、自由に建物を建設できないという問題や、財政が悪化している。京都の人はどのように考えているのだろう。

近畿地方では、なぜ都市や農村の姿が変化してきたのだろう。

第4時 ニュータウンの建設と都市の開発／変化する変化する農村の暮らし【○思考・判断・表現】

近畿地方の都市や農村では、どのような課題があるのだろう。

☆ニュータウン ☆うめたて ☆ターミナル駅 ☆再開発 ☆過疎化

近畿地方の都市では、可住地域が少ないために高度経済成長機にニュータウンなどが整備された。しかし現在は、少子高齢化が進んでいる。ターミナル駅では、私鉄の相互運転などが進められて、便利になっている一方、都市部と農村の格差が広がってしまった。農村では、過疎化が問題になっている。中国・四国地方でも過疎化の問題から町おこし・村おこしを行っていたが、取組を行っても成功する地域ばかりではないと感じた。その地域ならではの景観や農産物を活用することで、観光客や人口減少の食い止めなど、工夫している。私たちの街も高齢者が多いので、地産地消や地元よさをアピールできるようにしていきたい。これからは、どのように共生していくかが大事になると感じた。

第5時 単元のまとめ 【○思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度】

近畿地方では、なぜ都市や農村の姿が変化しているのだろう。

単元終了後の生徒の認識

近畿地方では、歴史的背景などから人々の生活への配慮が続いてきた。しかし、産業の変化や経済活動の変化に伴って、人口集中や高齢化・過疎化の進行など、様々な問題が続いてきた。都市部では、人口が集中することで住宅不足になり、農村部では過疎化が進み、限界集落も増えてきている。このように都市部と農村部では大きく格差が出てきてしまった。人々の努力も大切だが、私たちが過去の歴史を大切にしながら、農村部のよさも大切に生活していきたい。

4 単元指導計画

| | ねらい | おもな学習活動 | 評価規準 | 資料 |
|--|-----|---------|------|----|
|--|-----|---------|------|----|

| | | | | |
|----------------------------|--|--|---|---|
| <p>1 近畿地方をながめて</p> | <p>近畿地方の地勢や雨温図を読みとることを通して、冷涼な気候の北部、盆地が発達している中央低地、けわしい紀伊山地を中心とした南部の3つの自然環境について読み取ることができる。</p> <p>☆リアス海岸 ☆紀伊山地</p> | <p>1 近畿地方のイメージを問う。 ・京都は寺院が多い。・奈良は鹿がたくさんいるよ。 ・大阪は、天下の台所と呼ばれていた。 近畿地方は、どのような地域なのだろう。</p> <p>2 地域の特徴をおさえるために、地形をワークシートでまとめる(タブレットなどを用いて)。 3 北部・中央部・南部に分けて気候を調べる。 ・北部：冬に北西から吹く季節風の影響で、降水量(雪)が多くなる。 ・中央部：降水量が全体的に少ない。また、内陸部は寒暖差が大きい特徴がある。 ・南部：温暖で降水量が多い。 4 教科書の地図を用いて、人口が集中する地域を交流する。 ・中央部の平野や盆地に集中している。 ・大阪や京都・神戸などに多いね。 5 グラフを参考にして、人口の増減に着目させ、単元のテーマを位置付ける。 《単元を貫く課題》 近畿地方では、なぜ都市や農村の姿が変化してきたのだろう。</p> <p>近畿地方は、自然環境が大きく違う。北部のリアス海岸である若狭湾には、冬は北西からの季節風の影響で降水量が多くなる。また、南部は暖流の影響で温暖で、夏の降水量が多くなる。中央部では、日本で一番大きな湖である琵琶湖があり、他の地域と比べると降水量は少なくなっている。また、近畿では、大阪や京都・神戸などの中央部の沿岸部や盆地・平野に人口が集中している。人口が減少している地域と増加している地域では、どんな違いがあるのだろう。</p> | <p>近畿地方を3つの地域に分けて気候や降水量、地形に着目させ、自然環境の特色や、人口の分布を読み取っている。 (知識・技能)</p> <p>単元の課題について、自分の考えをもてている。 (主体的に学習に取り組む態度)</p> | <p>◇各地の雨温図 ◇志摩半島のリアス海岸 ◇近畿地方の人口 ◇紀伊山地</p> <p>◇大阪市・三田市・東吉野村の人口の変化</p> |
| <p>2 大都市圏の形成と都市の産業</p> | <p>近畿地方の大都市圏の成り立ちや大阪湾の工業の特色を複数の資料から読み取り活動を通して、大都市における工業などの課題を考えることができる。</p> <p>☆大阪大都市圏 ☆阪神工業地帯 ☆再開発</p> | <p>1 前時の学習から、近畿地方のどの地域に人口が多いかを確認する。 ・近畿中央部に多い。・平野や沿岸部に多かった。 ・奈良や京都には平城京や平安京の都が置かれていた。 「大阪大都市圏」と「阪神工業地帯」はどのように形作られたのだろう。</p> <p>2 課題追究をする。 【大阪大都市圏】 ・大阪を中心に、神戸や京都など古くから大陸と海運でつながっていたのだ。 ・多くの人が通勤・通学している。だから、交通網も発達しているのかな。 ・都市部にかけて、昼間人口が夜間人口よりも多くなっている。住民は郊外に多いことがわかる。だから、住宅地や私鉄が多いんだ。 【阪神工業地帯】 ・前はせんい業、今は機械類や化学が多い。瀬戸内工業地域と同じで石油が運びやすい立地だからかな。再開発もあって、2025年には万博が開かれる。 ・中小企業も多く、東大阪は東京よりも多いよ。 3 深めの発問から、近畿地方の都市が抱える課題について知る。 ・中小企業の生活公害問題や産業の空洞化を工夫して守ってきている。</p> <p>近畿地方では、大阪大都市圏が形成され、郊外の住民が行き来するために私鉄等を多く利用している。また、工業も発展を続けており、今では機械類や化学が多くなっている。大阪市では、再開発も進めてテーマパークを誘致し、2025年には大阪関西万博を開催予定になっている。しかし、課題もあり条例などでカバーしている。大阪市だけでなく、郊外の住民の暮らしは、どのようになっているのかな。</p> | <p>「大阪大都市圏」の形成や「阪神工業地帯」の様子について、複数の資料から適切に情報を選択し、資料を読み取り、まとめることができる。 (知識・技能) (思考・判断・表現)</p> | <p>◇近畿地方の人口分布 ◇阪神工業地帯の工業生産の変化 ◇近畿地方の鉄道網と市街地の広がり</p> <p>◇大阪市とその周辺の昼夜間人口 ◇中小企業の工業が多く集まる東大阪市</p> |
| <p>ねらい</p> | <p>おもな学習活動</p> | <p>評価規準</p> | <p>資料</p> | |

| | | | | |
|---|--|---|--|--|
| <p>3 京都の歴史的な町並み</p> | <p>京都の看板が目立たないように作られている理由を歴史的背景の保護・観光産業・経済効果・観光客の思いなどの視点から考察することを通して、歴史的景観を保護することで経済効果を生み出していることがわかる。</p> | <p>1 自分たちの住んでいる町と京都の店舗の写真を比較して、本時の課題を設定する。 ・私たちの街は、色々な色の看板などがあるけど、京都のお店は、茶色などの落ち着いた色を使っているね。 ・なんで、これほどまで景観を統一しているのだろう。 なぜ、京都の看板は目立たなく作られているのだろう。 2 資料追究する。 ・観光客が多く来ているから、観光消費額が増えると思う。経済も回るので、大切だと思う。 ・外国人観光客数が年々増えている。これは、京都の景観に魅力があるからだと思う。 ・観光で感動した理由の中で、「景観が素晴らしい」が多くを占めていたので、やはり景観保全が大切だと思う。 ・法律や条例で規制されるぐらい、歴史的な景観や歴史的な遺産をみんなで守り、大切にしたいのだ。 3 条例による規制により、自由に建物を建築できない自由が奪われることや京都市の財政が悪化していることを確認し、課題もあることを明らかにする。</p> | <p>歴史的景観の保護・観光産業・経済効果・観光客の思いなどの視点から考察し、多面的・多角的に捉え、まとめることができる。 (知識・技能) (思考・判断・表現)</p> | <p>◇地元の店舗の写真 ◇京都の店舗の写真 ◇観光客数変化 ◇景観に関する条例 ◇観光消費額 ◇観光で感動したこと ◇京都市の財政 ◇京都市民の思い</p> |
| <p>4 ニュータウンの建設と都市の開発／変化する農村の暮らし</p> | <p>都市や農村の課題をニュータウン・再開発・過疎化の視点から考察することを通して、現状を知り自分たちがすむ街について考えることができる。</p> <p>○うめ立て ○ニュータウン ○ターミナル駅 ○再開発 ○過疎化</p> | <p>1 神戸市と農村の地図からわかることを出し合う。 ・神戸市では、沿岸部で直線形の地形になっている。埋め立てた土地かな。山がすぐ近くまである。 ・農村では、中国・四国地方のように過疎化が進んでいる。 近畿地方の都市や農村では、どのような課題があるのだろう。 2 3つの視点から、資料追究する。 【ニュータウン】 ・人口が増加し、土地を広げるために、丘陵地を削って埋め立てた。でも、少子高齢化が進んでいる。 【再開発】 ・街並みを残すために、条例で定められているが、ターミナル駅の周辺で再開発が進んでいる。過密化が進んで農村との格差が広がってしまう。 【過疎化】 ・中国・四国地方と同様に、都市部に人が流れてしまい、農村部の過疎化が急激に進んでいる。 ・高齢化が進み、限界集落が増えてしまった。 3 取組の成果が出たところの資料を見て、確認する。 4 自分たちの街で「町おこし」をするならばどんなことができるか、話し合う。</p> | <p>ニュータウン、再開発、過疎地域の取組の視点で都市部と農村部を比較しながら考察し、多面的・多角的にとらえ、自分たちの街のために考えることができる。 (思考・判断・表現)</p> | <p>◇神戸市の土地利用 ◇農村部の土地利用 ◇ニュータウンの現状とこれから ◇大阪駅前の様子 ◇中国・四国地方の既習事項の資料 ◇人口増減率の地図</p> |
| <p>5 単元のまとめ</p> | <p>近畿地方の学習を振り返り、白地図にまとめることで、多面的・多角的に振り返ることができる。</p> | <p>近畿地方では、なぜ都市や農村の姿が変化しているのだろう。 1 近畿地方の貫く課題から、白地図プリントを配布し、学習した内容をまとめることで可視化する。 2 単元を貫く課題に対して、自分の考えを配布プリントにまとめる。</p> | <p>白地図にまとめ、単元を貫く課題の考察ができています。 (主体的に学習に取り組む態度)</p> | <p>◇近畿地方の白地図プリント</p> |